

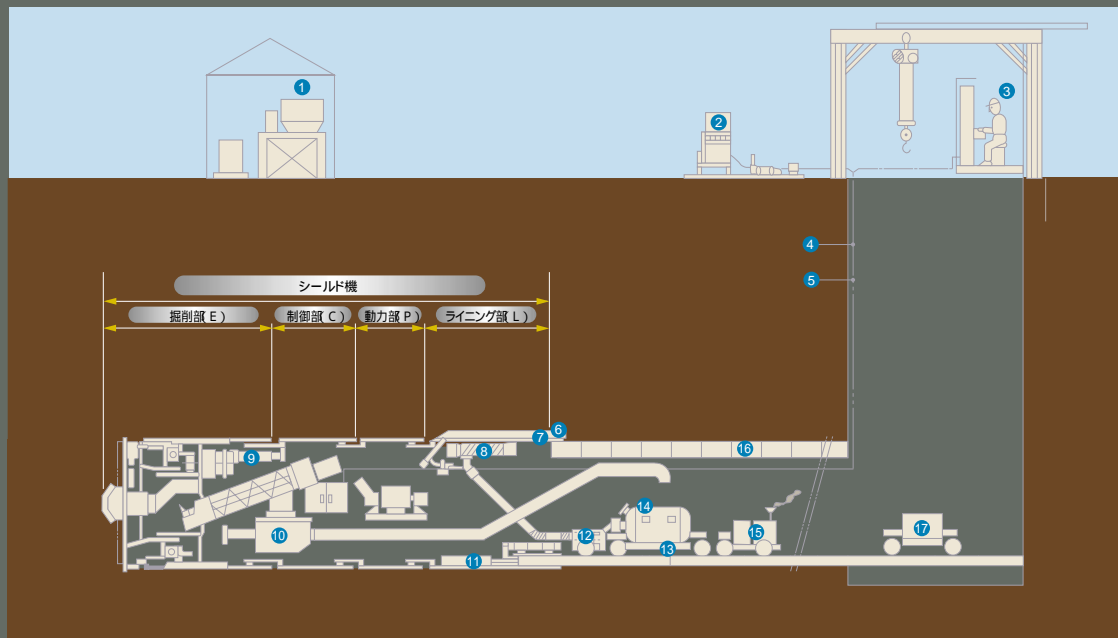
# 小断面シールド工法

Small-section shield method

1974年に導入したヒューム管推進工法であるM1工法は、施工距離などに制約があったことから、早強性レジンモルタルを自動打設することで、長距離曲線施工を可能とした小断面シールド(M2)工法を1988年に開発した。掘削からライニング打設までの坑内作業を自動化、無人化した本工法は、高強度で耐久性に優れた内径1200mmのレジントンネルを構築できる。

## 小断面シールド(M2)システム概要図

Small-diameter shield tunneling method (M2) system overview



- 1 材料プラント
- 2 裏込めプラント
- 3 操作室
- 4 電力および制御ケーブル
- 5 裏込め注入ホース
- 6 裏込め装置
- 7 型枠装置
- 8 混合打設装置
- 9 シールドジャッキ
- 10 圧送ポンプ
- 11 推進ジャッキ
- 12 連結装置
- 13 材料運搬車
- 14 材料タンク
- 15 電装車
- 16 レジントンネル
- 17 土砂運搬車

